

化粧品の安全性と薬事法の見方

化粧品は毎日使われるもので皮膚に刺激、毒性を与えない。皮膚の生理作用を妨害しないことである。

薬事法及び化粧品基準で定められている事項の順守だけでなく、さらに調査し情報収集、過去の経験等を調べ情報の蓄積をしておくことである。

化粧品に使用される成分と製品の安全性確保が必要となることから、安全確保の手法は、成分の安全情報を多方面から入手し、化粧品の種別、使用部位、使用方法によって成分の選択をするとともに化学構造から安全性を推測することも重要である。

本セミナーでは、化粧品に使用される成分の安全性を確保し、製品に使用する条件について決められている法規及び自主的な規制方法について述べる。

開催日時	2014年2月6日(木) 13:00~16:30	【会場】
受講料	36,750円(税込)	中央大学駿河台記念館 5F 500 会議室 〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台 3-11-5

講師	岩田 宏 先生 化粧品開発コンサルタント	13:30~16:30(質疑含)
----	----------------------	------------------

<プログラム>

<p>I 化粧品の製造販売業及び製造業許可取得の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 業者コードの登録 申請書の作成 基準書の作成 製造販売業の品質管理と安全管理の実際の業務 更新申請をうまく乗り切る手法 <p>II 化粧品成分の安全性</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全性試験 化粧品基準 生物由来製品基準 化粧品に配合可能な医薬品成分 旧化粧品種別配合成分基準 	<p>III 化粧品</p> <ol style="list-style-type: none"> 化粧品の分類 使用目的 使用部位 使用方法 効能・効果 化粧品の効能効果とコンセプト
---	--

このセミナーは
終了しました

※プログラム充実のため内容が変更になることもあります。

主催：(有)シーエムシー・リサーチ

(本セミナーの申込受付、請求書の送付等手続は主催者の(有)シーエムシー・リサーチが行います)

弊社記入欄	セミナー申込書 (S&T 出版) (DM)		
セミナー名	化粧品の安全性と薬事法の見方		
所定の事項にご記入下さい	会社名(団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
	E-mail :		
	部署	役職	氏名
お支払方法	(ご便宜の方法を○で囲んで下さい。) 銀行振込・郵便振替		お支払予定 2013年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。折り返し、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。
(E-mailでの申し込みは re@cmcre.com)

■申込先：(有)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789